

令和7年 第6回砂川市教育委員会会議定例会 会議録

日 時 令和7年6月25日（水） 午前10時00分～午前11時01分

場 所 市役所 3階会議室

出席者 板垣教育長、平間教育長職務代理者、住委員、皆上委員

欠席者 坪江委員

説明員 玉川教育次長、神島指導参事、徳永技監、早川学務課長、篠崎学校再編課長、
名久井社会教育課長兼公民館長、小島スポーツ振興課長、工藤図書館長、
上山学校給食センター所長

記 録 長谷川総務係長

審議内容

開 会（教育長進行） 午前10時00分

1. 会議録署名委員の指名 皆上委員

2. 前回会議録の承認

令和7年5月22日（木）開催の「第5回砂川市教育委員会会議定例会会議録」について承認。

3. 報告第1号 教育長報告について

5月22日（木）開催の「令和7年度北海道都市教育長会春季定期総会」について報告。

◇ 所管業務について

（学務課）

学務課長より、「令和7年度全国学力・学習状況調査について」など5件について報告。

（学校再編課）

学校再編課長より、「工事の入札結果について」など5件について報告。

（社会教育課）

社会教育課長より、「砂川市少年の主張大会について」など2件について報告。

（スポーツ振興課）

スポーツ振興課長より、「ゆったりノルディックウォーキング教室Ⅰについて」など2件について報告。

(公民館)

公民館長より、「市民大学について」報告。

(図書館)

図書館長より、「子ども手づくり絵本教室について」など2件について報告。

質問 令和7年度以降のスキー学習について

答弁 スキー学習が学習指導要領上必須ではないことや、保護者から経済的負担が大きいという意見があったことなどを踏まえ、砂川学園ではスキー学習を実施しないこととし、保護者に対しても連絡をしたところであり、現在代替のカリキュラムを検討中である。

質問 砂川学園開校後の武道の取り扱いについて

答弁 砂川中学校の武道を継承する方向で、WGにおいて協議を進めている。

質問 放課後学習サポート事業の参加者数について

答弁 事業を開始した平成29年が64人、平成30年が50人、令和元年が50人、令和2年が70人、令和3年が30人、令和4年が31人、令和5年が30人、令和6年が36人となっている。砂川学園開校後の開催場所について、公民館ではなく砂川学園にできるか検討する。

質問 バドミントンクラブを対象とした出張教室について

答弁 バドミントンクラブ「あすなろ」から依頼を受けて実施したため、参加者は「あすなろ」に所属している中学生である。

質問 すないうちの図書返却ポストの利用状況について

答弁 現時点での利用状況は1件2冊である。広報紙により周知したところではあるが、今後は新刊案内等の広報物にも掲載したいと考えている。

——— 了承 ———

4. 報告第2号 議会報告について

教育次長より、5月23日開催の総務文教委員会において、総体の質疑として「不登校児童生徒の状況・対応について」など4件の答弁内容について報告。

6月16日から19日までの会期で開催された第2回市議会定例会において、補正予算など7件の議案が審議され、一般質問として「小学校の閉校に伴う公共施設としての利活用方針等について」の答弁内容を報告。いずれも提案のとおり議決されたことを報告。

——— 了 承 ———

5. 議案第1号 砂川市立学校管理規則施行規程の一部を改正する訓令の制定について

学務課長より、砂川市立学校職員の出勤管理に係る手続きの合理化を行うとともに、条文を整理するため、規程の一部を改正することについて提案。

質問 出勤状況の記録方法について

答弁 正規の教職員は校務支援システムで出勤状況を管理できるが、会計年度任用職員などの砂川市から任用されている職員は、紙で出勤状況を管理しているため、このような改正内容となっている。正規の教職員については、校務支援システムの導入以降、校務支援システムと紙の両方に出勤状況を記録していたが、手続きを合理化するため、紙への記録は行わないこととする。

——— 決 定 ———

6. 議案第2号 砂川市社会教育委員の委嘱について

社会教育課長より、委員14人の委嘱について提案。

——— 決 定 ———

7. その他

次回の令和7年第7回砂川市教育委員会会議定例会を7月23日（水）午前10時00分から開催することについて承認。

——— 閉 会 ——— 午前11時01分

以上